

船舶事故等調査報告書

平成26年12月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014横第105号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年7月27日（日） 10時17分ごろ
発生場所	三重県志摩市間崎港北西方沖 間崎港東防波堤灯台から真方位328°470m付近 （概位 北緯34°17.4′ 東経136°48.4′）
事故等調査の経過	平成26年8月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	遊覧船 ステラ3世、19トン
船舶番号、船舶所有者等	243-27950三重、株式会社赤福
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	推進器翼に欠損、船底キールに擦過傷等
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、乗客5人を乗せ、志摩市英虞湾内を遊覧する目的で志摩市所在の宿泊施設（以下「A社」という。）の専用棧橋を出港し、船長がフライングブリッジの椅子に腰を掛け、間崎港北西方沖を約4ノットの速力で北北西進中、平成26年7月27日10時17分ごろ間崎港北西方沖の岩礁に乗り揚げた。 船長は、携帯電話でA社に救助を要請し、来援したモーターボートに乗客全員を移乗させ、A社の専用棧橋で下船させた。 本船は、満潮を利用して自力離礁し、自力航行して志摩市浜島港に入港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期
その他の事項	本船は、GPSプロッターを装備したばかりであり、画面に水深と速力が表示されていたものの、岩礁等が入力されていなかった。 船長は、GPSプロッターの操作に習熟していなかった。 船長は、いつものように目視による見張りを行っていたが、GPSプロッターで水深を確認し、水深が十分にあるので乗り揚げることはないと思っていた。 船長は、岩礁の存在を知らなかった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象等の関与	なし

<p>判明した事項の解析</p>	<p>本船は、間崎港北西方沖を北北西進中、船長が、GPSプロッターで水深を確認しながら航行していたものの、GPSプロッターに岩礁等が入力されていなかったことから、岩礁に接近していることに気付かず、岩礁に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、間崎港北西方沖を北北西進中、船長が、GPSプロッターで水深を確認しながら航行していたものの、GPSプロッターに岩礁等が入力されていなかったため、岩礁に接近していることに気付かず、岩礁に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 航行予定経路付近の水路調査を実施し、岩礁等が存在する場合は、GPSプロッターにその所在を入力するとともに危険範囲を設定すること。